



南ひだ

森林組合だより

• 発行 南ひだ森林組合 〒509-2311 岐阜県下呂市乗政25番地1
• TEL 0576-26-3551 FAX 0576-26-3557

令和8年1月

No.47



当組合では林業の後継者育成に力を入れており、その一環として高校生を対象とした採用を行っています。

採用後は当組合の職員として、岐阜県立森林文化アカデミーに2年間在学し、林業に関する知識と技術を基礎から学んだうえで、卒業後は当組合の即戦力として活躍していただく取り組みです。

写真はこの制度を利用した初めての職員で、令和8年4月からは新たにもう1名の採用が決定しています。

今後も当組合は、未来の林業を担う人材の育成に積極的に取り組んでまいります。

右記のとおりホームページを
開設しています

ホームページアドレス

<https://minamihida-f.org/>

組合事業等の情報を分かりやすく紹介していますので、ぜひご活用ください。



組合長あいさつ

南ひだ森林組合 代表理事組合長 細江 広 仲

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より当組合の運営、事業の推進に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は大阪・関西万博が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催され、国内外から約2,500万人が訪れ閉幕いたしました。特に、大屋根リングは万博の象徴となり、約20,000㎡の国産材が使われ注目を集めました。しかし他方では、静岡県に大きな被害もたらした台風15号、相次ぐ線状降水帯の発生により九州地方で観測史上最大の降水量が記録され、100年に一度と言われる大規模な浸水災害が発生しました。被災されました方々に衷心よりお見舞い申し上げます。また、日本の夏平均気温は、3年連続で最も高い気温となり、歴代最高気温を更新、猛暑日や40℃以上を観測した地点数の記録も更新する異常気象となりました。

さて、最近、「生物多様性」という言葉をよく耳にします。生物多様性とは、地球上の生物の多様性やそれに関連する生態系の豊かさを指す概念で、世界では約175万種、まだ知られていないものも含めると地球上には3,000万種とも言われる生物が存在すると推定されています。中でも、森林は面積で見れば陸地の約3割を占め、陸上の多くの生物種が生育・生息するとされ、これらの多様な生物が相互につながりを持ちながら構成する生態系が、食料や水、木材、大気中の酸素の供給、気候の安定等をもたらしており、人々の暮らしはそれによって支えられています。

近年、生物多様性の確保は、気候変動の問題と並ぶ地球規模の課題であり、国内外での関心が高まっています。民間企業においても、生物多様性の損失や自然資本の劣化が事業継続を損なうリスクとして認識されつつあり、気候変動対策に加え、生物多様性・自然資本への対応をビジネス課題と位置付けて、企業経営に取り組んでいく動きが加速し、その課題解決に貢献するとして、森林の保全を目的とした、「民間企業と協業」した森づくりや、都市部では「木の文化都市」「木のまちづくり」などの取り組みがなされ、公共建築物、商業施設、中高層建築物に国産材が利用されつつあります。また、平成25年度から省エネ設備の導入、再生可能エネルギーの活用等による温室効果ガスの排出削減量や森林管理による温室効果ガス吸収量をクレジットとして国が認証するJクレジット制度の運用が開始され、令和3年度頃から森林分野におけるJクレジットの活用が本格的に進められています。当組合として、昨年度より森林クレジット制度（Jクレジット）への取り組みを進めており、令和7年11月、森林経営計画により適正に森林管理が行われている森林を対象に、対象森林面積932ha、4,168tのJクレジット認証を受け販売を開始いたしました。森林クレジットで得た収入は、森林の新たな価値として、森林所有者に還元いたします。来年、再来年は約900ha、その後は約500haの森林を対象にJクレジット創出に取り組んで参ります。脱炭素化の流れを背景に、森林クレジットを通じ森林の価値が見直され、さらには、木材が環境に良い資材として活用され、それが木材価格に反映し、近い将来、再び「木の文化」が根付き、国産材が利用されて行くことに、期待を寄せるものであります。

本年も組合員の皆様に信頼される南ひだ森林組合を目指し、役職員一丸となり努力して参りますのでより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、組合員の皆様のご健勝ご多幸と、本年もよい年でありますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

木材共販センター(共販課)からのご報告

平素より木材共販センター(共販課) 事業にご協力いただき、誠にありがとうございます。

当センターでは、組合員様のご協力により、森林経営計画地から安定した木材の供給が行われ、木材の流通が順調に進んでおります。令和7年1月～12月までの取扱材積 約47,100m³ 656,683千円の見込みとなりました。

今後も、皆様に役立つ情報を提供しながら、販売事業をさらに推進してまいります。

全国的な木材流通の動向について

最近の木材流通は、丸太の出荷が少し減っていて供給が弱まりつつありますが、その一方で国産材を使う動きが広がってきています。

バイオマス燃料向けの需要も増えており、市場全体はゆっくり上向き。

価格はやや不安定ですが、国の政策で木造建築を後押ししていることもあり、これからもしばらく国産材の需要は続きそうな雰囲気です。

●原木の用途別による販売単価の現状を紹介します。(杉、桧が一緒になっています)

A材(建築用材、柱、土台材、小径木) 平均 16,000円 / m³

B材(合板材・集成用材等) 平均 14,200円 / m³

C材(バイオマス用材、パルプ用材等)：協議し、協定契約している単価です。

・森林経営計画地から搬出された木材は間伐由来の単価 平均 8,800円 / m³

・上記以外是一般材の単価 平均 8,000円 / m³

【市売での階級別の販売状況と需要動向を紹介します(令和7年11月19日 市売)】 (m³単価)

ヒノキ		平均単価	高値販売		入荷状況	需要用途
3m	16～22cm	19,538 円	φ18	23,100 円	安定的な入荷です	柱材等で利用されています
	24～34cm	20,706 円	φ30	32,000 円	入荷が少ないです	柱材・羽柄材等で利用されています
4m	16～22cm	19,775 円	φ18	22,500 円	安定的な入荷です	造作材・土台材等で利用されています
	24～34cm	19,001 円	φ32	36,000 円	安定的な入荷です	造作材・土台材等で利用されています
	36cm～	26,958 円	φ38 元	82,000 円	入荷が少ないです	造作材等で利用されています

スギ		平均単価	高値販売		入荷状況	需要用途
3m	20～28cm	14,690円	φ30	15,900円	入荷がやや少ないです	柱材等で利用されています
	30～34cm	14,443円	φ32	15,800円	入荷が少ないです	板材・桁材等で利用されています
	36cm～	13,400円	φ36	15,000円	入荷が少ないです	板材・桁材等で利用されています
4m	20～28cm	14,700円	φ28元	17,400円	安定的な入荷です	板材・桁材等で利用されています
	30～34cm	14,683円	φ34元	17,500円	安定的な入荷です	板材・桁材等で利用されています
	36cm～	14,400円	φ44	31,000円	安定的な入荷です	板材・桁材等で利用されています

※桧：入荷、販売ともに順調です。元木の良材は特に引き合いが強いです。

※杉：入荷、販売ともに順調です。桧同様、良材に買い手が集まっています。

金額は、販売手数料、極積作業料を差引前の税別金額



※木材流通の先行きは不透明な部分もありますが、組合員の皆様の木材を高価格で販売出来る様に努力いたします。

令和7年11月5日(水)、下呂市副市長をはじめとする来賓9名をお迎えし、出荷者・買方者の皆様を含めた総勢61名の参加のもと、「木魂感謝特別市」を開催いたしました。

当日は天候にも恵まれ、はじめに執り行われた木魂感謝祭の神事も滞りなく終わることができました。

会場には優良材が多数入荷し、参加者の皆様は、極積された材を熱心に見学される姿が多く見られました。

また、市開催に先立ち、令和7年1月から10月までの期間において、当センターへ多くご出品いただいた出品事業者様、ならびに多くお買い上げいただいた買方事業者様へ、奨励賞を贈呈しました。

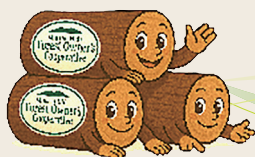
特別市では特に優良材の入札が白熱し、高値が読み上げられた際には、会場から驚きと期待のこもったどよめきが起こるなど、大いに盛況となりました。

出席された皆様からも「今回の特別市は良かった」との温かいお言葉を多数いただきました。

当センターといたしましても、今回の特別市の成果を励みに、今後も活性化に努め、組合員の皆様に還元できる運営を続けてまいります。



木魂感謝祭



木魂感謝特別市の開催!



木魂感謝特別市



木魂感謝特別市
地産地消豚汁
下呂市産野菜
なつとく豚使用
しいたけ 細江組合長より

●優良材販売は以下の結果となりました!

下呂市金山町菅田桐洞地内	桧	6.0m	52 cm	227,000 円 / m ³
下呂市金山町菅田桐洞地内	桧	6.0m	40 cm	117,000 円 / m ³
下呂市金山町福来地内	桧	5.0m	54 cm	217,000 円 / m ³
下呂市金山町菅田桐洞地内	桧	7.0m	48 cm	227,000 円 / m ³
下呂市金山町菅田桐洞地内	桧	6.0m	48 cm	137,000 円 / m ³
下呂市金山町菅田桐洞地内	桧	4.0m	42 cm	111,000 円 / m ³
下呂市金山町菅田笹洞地内	桧	4.0m	40 cm	130,000 円 / m ³
下呂市金山町菅田笹洞地内	桧	4.0m	40 cm	100,000 円 / m ³
下呂市金山町福来地内	榎	5.0m	50 cm	100,000 円 / m ³
下呂市金山町菅田笹洞地内	桜	4.5m	40 cm	100,000 円 / m ³
高山市内	桧	2.0m	46 cm	116,000 円 / m ³

木材販売、運搬、木材等に関する問い合わせ先・・・

木材共販センター(共販課) TEL0576-26-3202 担当: 日下部・泉田



令和7年度 取り組み報告

■竹原中学校2年生 植栽体験

4月30日、竹原中学校2年生の生徒が森林学習の一環として、組合が伐採した山林において植栽活動を行いました。

この活動では、伐採後の森林に苗木を植えることで森林が再生していく仕組みや、森林循環の大切さについて指導しました。森林が若返ることにより、地球温暖化対策にもつながることを説明し、生徒たちは植栽体験を通じて森林整備の重要性を理解してくれました。

また、今回はスギの小花粉コンテナ苗を植栽し、花粉症対策を考慮した再生林の取り組みについても学んでもらいました。



■可茂森林組合 視察研修会



10月3日、可茂森林組合の役員ならびに可茂地域の林業関係者の皆さまが、南ひだ森林組合の事業への取り組みについて視察研修にお越しくださいました。

視察では、下呂市における森林整備の現状や、共販センターの運営状況について多くのご質問をいただき、熱心に情報交換を行うことができました。参

加者の方々からは、「今後の取り組みの参考にしたい」とありがたいお言葉を頂戴し、有意義な研修の機会となりました。

■南ひだ森林組合 安全大会

10月24日、毎年恒例となっている安全大会を実施しました。

今年は、安全管理士の渡邊様を講師としてお招きし、安全作業に関する講義を行っていただきました。渡邊様は林災防の東海・北陸地区を担当されている方で、分かりやすいご説明をいただき、安全作業の重要性を改めて認識する機会となりました。

午後からは、消防署の皆さまにご協力いただき、災害時の通報訓練や応急処置の実習を行いました。緊急通報時に必要となる情報や、三角巾の使用方法などを学び、災害への初期対応力を向上させることができました。

今回の安全大会を通じて、日々の作業における安全意識の向上と災害発生時の適切な対応体制の強化につながる有意義な時間となりました。



■下呂市議会との意見交換会



11月14日、下呂市議会議員 総務産業建設常任委員会の皆さまと意見交換会を行いました。

意見交換会では、まず組合の事業への取り組みについて共有するとともに、森林整備の重要性についてお話ししました。そのうえで、下呂市の林業が抱える課題について各課から市議会に問いかけ、対応

や改善に向けた検討をお願いしました。

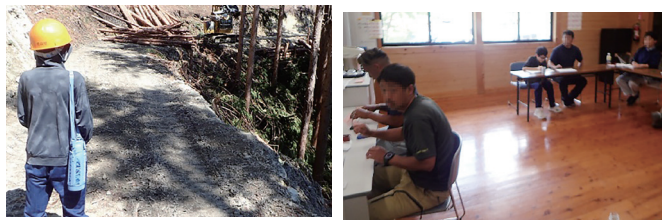
今回の意見交換を通じて、下呂市における森林整備の現状と課題についてご理解いただき、今後、議会でも積極的に議論を深めていただくことで、下呂市の森林整備がより一層進むことを期待しています。

■下呂中学校（寝屋子学習）

令和7年8月23・24日、当組合に体験学習に来てくれました。

体験学習では、下呂市の92%が森林であることを伝えるとともに、山での仕事内容や木材の販売事業について学んでもらいました。

山での作業見学では、普段目にするのことがない林業機械による伐採作業を見てもらい、間伐によって森林を整備することの大切さについて理解を深めてもらいました。また、木材の販売状況についても学んでもらうことができました。



■求人説明会に参加



林業の後継者を確保するため、当組合では求人活動として企業説明会に積極的に参加しています。

学生を対象とした職場説明会では、下呂市の森林の状況や当組合の施業方法などについて説明を行い、インターンシップで当組合に来て実際に山へ入り、現場を見てもらうことを勧めています。

■岐阜県立森林文化アカデミー生徒 インターンシップ

令和7年8月に、森林文化アカデミーの生徒がインターンシップで当組合に来てくれました。

インターンシップでは、実際に当組合の森林技術職員の班に入り、伐採・搬出作業を体験してもらいました。安全に作業を行う方法や、間伐作業においてどの木を伐るべきかなどについても学んでもらいました。



■高校生の職場見学



令和7年10月28日に、益田清風高校の2年生の生徒が当組合へ職場見学に来てくれました。

見学では、初めて目にする林業の現場で、高性能林業機械による造材作業や、チェーンソーを使った伐倒作業に感動している様子が見られました。

また、「自然と触れ合う仕事を見て、森林の大切さに気付くことができました」との感想もいただきました。

森林管理課からのご報告

森林管理課では、森林整備を行うために重要となる森林所有境界の明確化事業を「森林整備地域活動支援交付金」や下呂市が進める「森林所有者意向調査業務」により実施しています。

■令和7年森林整備地域活動支援交付金での境界明確化事業実績
(森林組合で森林経営計画を立て、主に搬出間伐を行う森林)

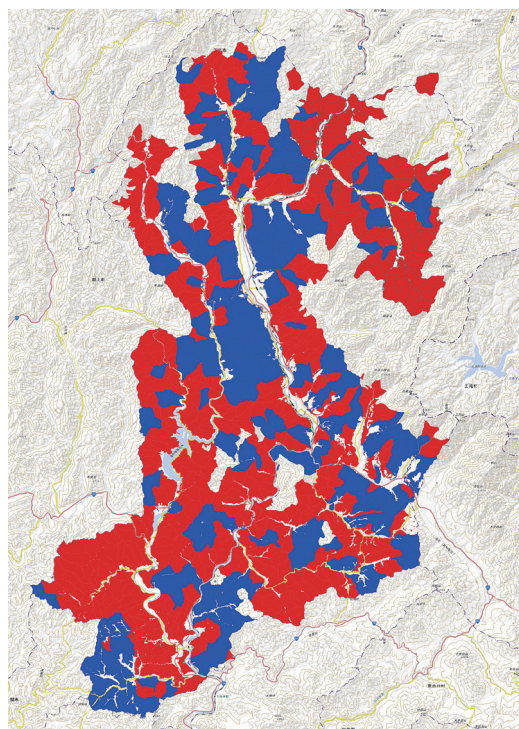
地区	対象人数	面積
8地区	391人	485ha

■令和7年森林所有者意向調査業務での境界明確化事業実績
(下呂市から発注された、木材生産が困難な森林)

地区	対象人数	面積
5地区	509人	174ha

森林整備地域活動支援交付金事業では、令和8年に7地区にて390人、400haの森林境界明確化事業を実施する見込みとなっています。

市内民有林の森林整備状況



- 青色 … 森林経営計画や経営管理制度等により整備が進んでいる森林
- 赤色 … 過去10年間整備されていない森林

森林整備状況について

現在の市内民有林森林整備状況は左図のとおりとなっており、下呂市内には過去10年間整備されていない森林が人工林面積で約14,000haあります。

組合員の皆様や森林造成組合長様より森林整備の要望をいただいている地区もありますので、今後とも森林整備の推進にご協力いただきますようお願いいたします。



業務計画課からのご報告

当組合では、組合員様の所有山林を中心に森林経営計画団地内で造林補助金を活用して間伐作業を行っています。

令和7年度は、組合員様をはじめ地域の森林造成組合の協力を得て、新規6団地、拡大3団地の森林経営計画団地を樹立しました。また令和7年11月末現在で、森林経営計画地9団地（内、造林1団地含む）270haの間伐を実施させていただきました。森林作業道を22,000m開設し搬出間伐を130ha行うなかで、木材平均売上12,800円で販売し、1haあたり353,000円（1㎡あたり4,900円）の利益還元をすることができました。

表は、令和7年度（令和7年1月～11月現在）の、森林経営計画団地での造林補助金を活用した間伐と森林作業道の実績見込みとなります。

間伐面積	搬出間伐面積	切捨間伐面積	搬出材積 (補助金申請分)	造林補助金 交付額	所有者還元 金額
260ha (10ha)	130ha	130ha	18,700m ³	124,899,000円 (16,394,000円)	91,812,000円

森林作業道開設本数	森林作業道開設延長	造林補助金 交付額
31本	22,000m	37,360,000円

※（ ）内は、造林の実績

令和8年度も、森林経営計画団地で、間伐300ha、搬出材積22,000m³、森林作業道22,000mを計画しております、造林補助金を要望しております。

また、森林管理課で行っている森林境界明確化及び意向調査が完了後、森林経営計画を樹立してまいります。組合員様の利益向上につながるよう造林補助金の確保により一層努めてまいりますので、ご協力お願いいたします。

主伐再造林のご紹介

戦後、先人達が育て守ってきた森林が高齢化し伐期を迎えてきています。

そこで、「持続可能な森林経営」と地球環境への貢献を考えた「無理のない更新伐」の実施として主伐再造林にとりくみませんか。国や県も主伐再造林に力をいれており、補助金を活用して植栽から獣害対策までできます。主伐を実施し、木材を販売することで所得の確保を行い、再造林することで地球温暖化防止への貢献と後世に新たな財産（森林資源）を残していきましょう。



【皆伐後、植栽・獣害対策】



【10年後】

○活用できる国、県の補助事業

※面積 0.1ha 以上、標準単価と経費の比較による

- | | |
|--------------|---------------|
| ・直接支援事業 | 植栽・獣害対策補助 |
| ・農山漁村地域整備交付金 | 伐倒費・植栽・獣害対策補助 |
| ・非公共事業 | 伐倒費・植栽・獣害対策補助 |



地域林業と森林環境を守る担い手として

総合職 大募集

森林技術職員

木材運搬職員

森林施業
プランナー
として育成

下呂市の

土地面積 **92%は森林です!**

地域一番の資産である
森林を一緒に守り、育てませんか。



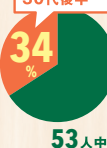
職員のひと言



皆さんは、「林業」って就職先として
「専門的知識がないと大変じゃない
…」って思っていないですか？

専門的経験が無く就職
して10年以内の職員も
23人となっていますので、
中途採用でも専門的知識
が無くても安心して
就職先として考えてい
ただけるとと思いますよ。

20代前半～
30代後半



転職・Uターン・Iターン・新卒大歓迎!!

職員の平均年齢は**44歳**、未経験者でも!

職場体験や就職相談、就業条件や給与等に関しても、お気軽にお問い合わせください。



南ひだ森林組合

〒509-2311 岐阜県下呂市乗政 25-1

ご質問・お問い合わせは

担当/江間

0576-26-3551

<https://minamihida-f.org/>



お問い合わせ
フォームからでも
お気軽に!



組合員様の相続手続きについてのお願い

平素は、当組合にご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標記につきまして名義変更の必要な組合員様にはご連絡をお願いしたいと存じます。

ご連絡がない場合、音信不通となり出資金が無効になる可能性があります。

お手数をおかけしますが、お手続きの必要な方は、南ひだ森林組合の出資証券を確認していただき、下記までお問い合わせください。

尚、出資証券を紛失された場合、「再発行届」に本人又は相続人の署名捺印のみにになりました。

問い合わせ先：0576-26-3551 担当：田口

出資証券について

旧森林組合の「出資証券」は合併時に書き替えを行っており無効です。
平成11年2月1日以降発行の「出資証券」が有効です。

南ひだ森林組合「出資証券」見本



※住所が変更された場合もご連絡下さい。

組合だよりは組合員の方全員に発送しております関係で、手続きが必要ない組合員様にもご案内致しております事、ご理解のほどお願い申し上げます。

令和7年11月28日現在